

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	橋りょう補修事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路管理課			
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	染谷 祐治			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市が管理する橋りょう	意図	市内の橋りょうの劣化等に対応した維持管理により耐久性の向上を図り、安心・安全な道路環境を確保する。
事業内容	・市内に供用されている橋りょうの維持管理及び適正管理を行うことにより、長寿命化と補修費の削減を図りつつ、通行の安全を確保する。			
事業開始から現在までの状況変化	・市内182箇所の橋りょうについて、塗装の剥離、構造物のひび割れや欠損が見受けられることから、平成23年度より補修工事を着手している。近年、各地の地震災害の影響から、橋りょうの耐震対策の重要性が求められつつある状況を踏まえて、補修優先度の高い橋りょうについて、後期基本計画及び実施計画に反映し、計画的な実施を図る。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		橋りょう補修工事件数	0	1	1	件	
	橋りょうの安全性や快適性に対する情報件数	0	1	1	件		単年度における情報申し出、処理件数の合計
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・地震発生は予期できないことから、耐震性をはじめ、健全性や重要性等を総合的に考慮した長寿命化修繕計画に基づき、計画的な補修を実施しなければならない。
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		74,281,506	92,093,707	128,971,870			
事業費(b)(円)		70,849,006	88,737,707	125,675,870			
うち一般財源		3,984,206	14,841,707	15,538,035			
職員給与費(c)(円)		3,432,500	3,356,000	3,296,000			
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

H30当初の改善計画(Plan)	<ul style="list-style-type: none"> 適切な補修工事等を実施し、橋りょうの長寿命化促進を図る。 橋りょう補修事業の財源（国費）の確保に努める。
H30に実施した取組(Do)	<ul style="list-style-type: none"> 適切な補修工事により、橋りょうの長寿命化促進を実施した。 適切な財源（国費）確保を実施した。

取組における課題(Check)	<ul style="list-style-type: none"> これまでに実施している、橋長15m以上の桁橋に加え、橋長15m未満の桁橋についても計画的な修繕による長寿命化を図る。
課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	<ul style="list-style-type: none"> 橋長15m未満の桁橋についても、計画的な修繕を実施し、市で管理する全ての桁橋の効率的な長寿命化に努める。